

審判員の仕事

主審

- 競技規則を施行し、試合を進行する。
- 公式戦の場合、試合前に、試合の関係者とともに対戦する2チームのユニフォームの色の組み合わせを決める。
- 試合前に、選手の用具やボールが規定どおりかをチェックする。
- 試合開始（キックオフ）、試合終了の合図を行う。
- 試合時間をはかる。
- 試合を中断したり再開したりする。
- 反則など、試合中の記録をとる。
- 得点を認める。
- 試合後、関係機関に報告書を提出する。



副審

- ボールがゴールライン、タッチラインを出たとき、どちらのチームのボールなのかを主審に知らせる。
- オフサイドの反則があったかどうかを主審に知らせる。
- タッチライン付近での反則を主審に知らせる。
- 主審が見ていないところでの反則を主審に伝える。
- 選手の交代が行われようとしているとき、主審に対して合図をおくる。
- ペナルティーキックのとき、選手が正しく行っているかをライン上から確認する。



第4の審判員

- 主審、副審が任務を果たせなくなったとき、交代して任務を行う。
- 交代でピッチに入る選手の用具が、規定に合っているかどうかチェックする。
- 選手の交代が行われようとしているとき、主審に対して合図をおくり、交代を行う。
- ボールの交換を行う。
- アディショナルタイムの表示をする。
- テクニカルエリアの役員（監督・コーチ・トレーナーなど）の態度が悪いときに注意する。



審判員の用具

主審

笛 (ホイッスル)

試合開始 (キックオフ) 時、
試合終了時、
反則があった時、試合が中断した時、
試合の再開時などにつかいます。
主審が自分で用意します。
予備のホイッスルを持っている人もいます。



時計

試合の時間をはかります。
時計を2個身につけている人もいます。



イエローカード・レッドカード

警告や退場を告げます。
カードを出したときは、
時間や理由などを
審判記録カードなどに
記録します。



試合を記録するためのノート

(審判記録カード) とえんぴつ

得点や選手の交代、警告、
退場を記録します。



トスコイン

おもてとうらの模様がちがうもの。
キックオフをするチームと
陣地を決めるときにつかいます。



ワッペン

審判員であることを証明するもので、
試合では必ずつけなければ
なりません。



副審

アシスタントレフェリーフラッグ

副審が試合中にシグナルを
出すときにつかいます。
シグナルとは合図のことで、
旗をつかって示します。
Jリーグでつかっている無線式の
アシスタントレフェリーフラッグは、
副審の合図を、主審が腕につけた受信機にブザー音と振動で
伝えることができるため、主審が見ていないところで
反則などが起きた時に、すぐに知らせることができます。



第4の審判員

選手交代ボード

選手交代する時や、アディショナルタイムを
表示するときにつかいます。

